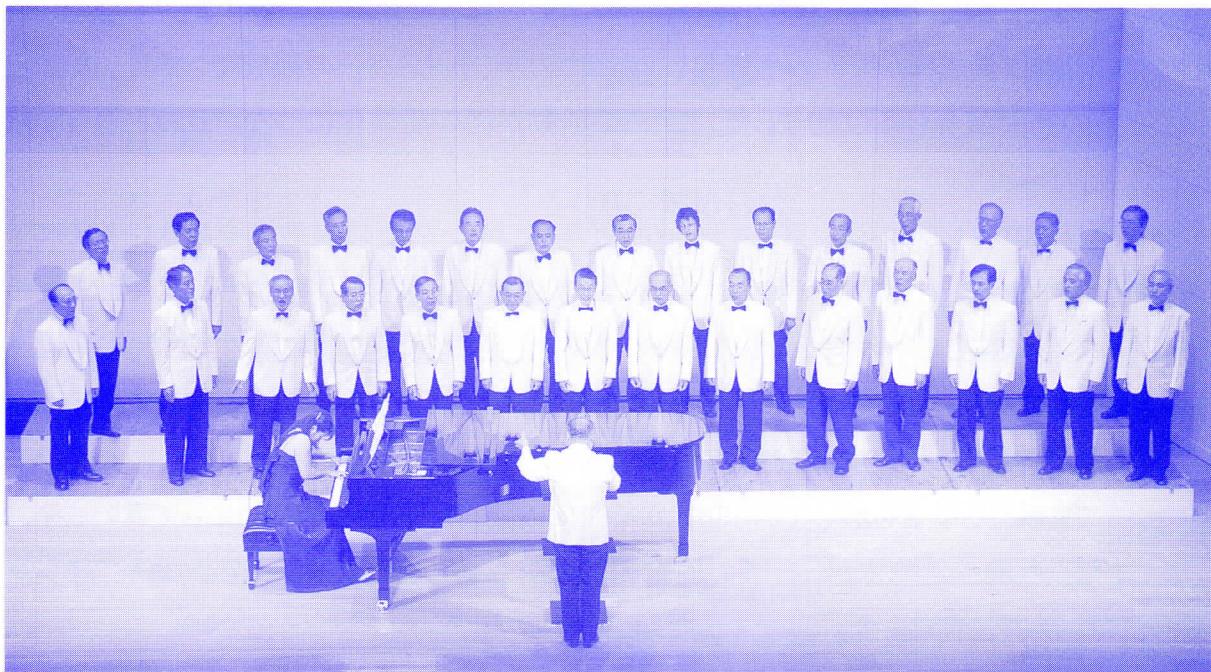


# 横浜さかえ男声合唱団

## 第4回 定期演奏会



平成20年11月16日(日)

開演 14時

横浜市 栄公会堂ホール

後援/栄区役所 栄区文化協会 栄区音楽協会

## ご挨拶

本日は、ご多忙の中、私達の第4回定期演奏会にご来場いただき、ありがとうございました。平成13年に「横浜さかえ男声合唱団」として発足してから7年が経ちました。1年半から2年に1度開催してまいりました定期演奏会も今回で4回目を迎えるました。

常任指揮者堀部隆二先生のご指導の下、月2回の練習をしております。しかし、それでは不十分なため、団員指揮者角祐一による自主練習を取り入れ、毎週欠かさず練習を重ねてきました。

本年6月には、堀部先生がご指導する3合唱団・総勢140名が一堂に会し、交流発表会と懇親会を開きました。持ち味の違う合唱団との出会いに、大変刺激を受けました。また、最近では、団内にダブルカルテットも誕生し、小回りのきく小メンバーの編成で、平日、福祉施設などへの訪問演奏も多くなりました。これらの活動が団の活性化につながればと思っております。

さて、本日のプログラムは、第1ステージが「ルネッサンス期の宗教曲を歌う」と題して、16世紀に全盛を極めた多声音楽(ポリフォニー)に挑戦しました。第2ステージは、「水のいのち」の姉妹編ともいわれる「心の四季」です。平易な言葉の中に人生の深さを感じさせる組曲です。そして第3ステージは、団員指揮者による「なつかしのヒットポップスを歌う」。メインの最終ステージは、男声合唱の名曲、組曲「月光とピエロ」を演奏いたします。

いつまでも歌える幸せを感じながら50代から80代の団員30名が心を一つにして歌います。まだまだ、力量不足ですが、日頃の練習の成果をお聴きいただき、忌憚のないご意見を賜われば、幸甚に存じます。

団長 伊藤 正昭



練習風景（湘南国際村合宿にて）

# プログラム

## I ルネッサンス期の宗教曲を歌う

- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. Ave Maria                     | 指揮 堀部 隆二        |
| 2. Accende lumen sensibus        | G.P. パレストリーナ 作曲 |
| 3. Cantate Domino canticum novum | T.L. ヴィクトリア 作曲  |
| 4. Ave Maria                     | H.L. ハスラー 作曲    |
|                                  | J. アルカデルト 作曲    |

## II 男声合唱組曲「心の四季」

吉野 弘 作詞 / 高田 三郎 作曲  
指揮 堀部 隆二 ピアノ 飯田 由紀子

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 風 が   | 5. 愛    |
| 2. みずすまし | 6. 雪の日に |
| 3. 流 れ   | 7. 真昼の星 |
| 4. 山 が   |         |

## ~~~~~ 休憩 ~~~~

## III なつかしのヒットポップスを歌う

指揮 角 祐一 ピアノ 飯田 由紀子

- |            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 1. いい日旅立ち  | 谷村 新司 作詞・作曲 倉知 竜也 編曲          |
| 2. 専       | 谷村 新司 作詞・作曲 清水 明 編曲           |
| 3. 秋 桜     | さだまさし 作詞・作曲 倉知 竜也 編曲          |
| 4. しおさいの詩  | 小椋 桂 作詞・作曲 角 祐一 編曲            |
| 5. 君といつまでも | 岩谷 時子 作詞 / 弹 厚作 作曲 / 小池 義郎 編曲 |

## IV 男声合唱組曲「月光とピエロ」

指揮 堀部 隆二

堀口 大学 作詞 / 清水 僮 作曲

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1. 月 夜   | 4. ピエロの嘆き            |
| 2. 秋のピエロ | 5. 月光とピエロとピエレットの唐草模様 |
| 3. ピエロ   |                      |

# 曲 目 解 説

## 第1ステージ ルネサンス期の宗教曲を歌う

ルネサンス期は、ダンテ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ等に代表される芸術家達が活躍した時代として知られるが、音楽では「合唱の時代」であった。それは後世において豊かな響きと色彩感で交響樂を奏でることになる諸楽器が未発達で、人々が多聲音楽の響きを表現するには、何よりも「声」という音源が最も適していたからに他ならない。

各パートが独立性を保ち、それぞれが美しい旋律の横糸を走らせながら音の重なりを織りなしていくルネサンスのポリフォニーは、まさに合唱音樂の原点といえる。

### 1. Ave Maria / アヴェ・マリア

イタリアの作曲家パレストリーナは、不協和音や半音階進行を避け、透明感のある清澄なポリフォニー音樂を創り上げ、カトリック教会音樂の理想とまで讃えられた。

### 2. Accende lumen sensibus / 知性に光をともし

ヴィクトリアは、「太陽の没することのない植民帝国」として繁栄を極めていた時期のスペインの作曲家。曲はイタリアで学んだポリフォニー書法で書かれているが、その響きからは獨得の深い味わいが感じ取れる。

### 3. Cantate Domino canticum novum / 主にむかいて新しき歌をうたえ

ドイツの作曲家ハスラーは、ヴェネツィアでA.ガブリエリに学んだ。最上声部に主要な旋律が現れホモフォニックな響きにより、神への信仰が力強く歌われる。

### 4. Ave Maria / アヴェ・マリア

アルカデルトの原曲は「私どもは、知っております。殿方は」というシャンソン。19世紀にディーチュによって改作され、アヴェマリアとして広く歌われている。

## 第2ステージ 男声合唱組曲「心の四季」

「水のいのち」と並ぶ名曲「心の四季」は、作曲者自身による混声版と女声版があったが、男声版は存在しなかった。本日は、作曲者の没後に須賀敬一が編曲した男声版で演奏する。

吉野弘の詩は、平易な言葉の中に、人の生き様を深く高く表現しているが、高みを求めて生きる姿は、他の高田作品にも共通するテーマである。作品発表後、作曲者は、詩について「時の流れに磨かれる心、日常の中に埋没することのない勇気、遠くからの真実の呼び声、汚濁を許さぬ高貴な魂の誇り」等々を解説したと言うが、まさにそれらが言葉と音樂の結晶体として組曲全体に散りばめられている。

### 1. 風 が

見えない時間に吹かれている人生が、四季の情景に重ね合わせて歌われる。花びらを散らす春の風、葡萄が輝く夏の光、金色に舞う銀杏の葉を落とす秋の雨、すべてを白く包み込む冬の雪。それは、青春・朱夏・白秋・玄冬に象徴される人生の四季の色でもある。

### 2. みずすまし

水面に浮き沈みながら泳いでいるみずすましの姿を、人にたとえて語る。そこには日常に阻れ押し返されている人の姿が投影されている。

### 3. 流 れ

しぶきをあげて流れを噛む岩、速い流れを貫いて遡る魚、流れに逆らう精一杯な生き方への贊歌を歌い上げている。

### 4. 山 が

やまびこのような二重合唱で、山に憧れる人の心がさわやかに歌われる。

### 5. 愛そして風

過ぎた愛の疾風に、いくたびとなくざわめき、揺れ動く人の心を歌う。

### 6. 雪の日に

詩人によると「東北地方の雪は、おさまりきれない人間の精神のように、はげしくいつまでもふりつづける」と言う。純白を信じられている雪は、自らの汚れをかくすために降り続ける。だが己を欺くことは

できない。もはやみずからの手に負えなくなってしまったとしても…さらにはげしく降り続ける雪。それは、たとえようもない重さで重なっていく雪の宿命なのだ。全曲中もっとも深く重い詩が、雪の慟哭とともに歌われていく。

## 7. 真昼の星

天上でひそやかに静かに私たちを見守る星たちが歌われる。前曲の重々しさから一転して、神々しいとさえ思えるような明るいハーモニーによって、この組曲が閉じられる。

# 第3ステージ なつかしのヒットポップスを歌う

## 1. いい日旅立ち

山口百恵が歌って昭和53年にヒットした一人旅の心理と情景を歌ったもので、当時の国鉄のコマーシャルにも使われた。文化庁の「日本の歌100選」に入選した一曲である。

## 2. 昂

昭和55年に発売するやたちまち大ヒットし谷村新司の代表曲となった曲である。スケールの大きな曲で、今では国内だけでなく、アジアの多くの人々にも愛唱されている。

## 3. 秋 桜

さだまさし作曲による昭和52年にリリースされた山口百恵のヒット曲で、嫁ぐ娘と母親の情愛をしつとり歌った名曲である。この曲で百恵は日本レコード大賞歌唱賞を受賞している。

## 4. しおさいの詩

昭和46年に発売されたファースタルバムの1曲目に収録された小椋桂の最初の曲。誰もが経験する青春時代の後悔、挫折感等を歌った叙情性豊かな佳曲である。

## 5. 君といつまでも

昭和41年に300万枚を超える大ヒットとなり日本レコード大賞特別賞を受賞した加山雄三の代表曲で、「しあわせだなあ」は流行語になった。当時の結婚式の定番ソングでもあった。

# 第4ステージ 男声合唱組曲「月光とピエロ」

## 堀口 大学

明治24年東京に生まれる。父が東大の学生であったことと本郷の東大の近くで生まれたことから大学と命名されたという。与謝野夫妻の助言で詩作を始めた。外交官であった父の勤務の関係でメキシコ、スイスその他海外で9年間過ごしている。

「月光とピエロ」は28歳で自費出版した処女詩集で、生涯を通じてその業績は詩作にとどまらず、翻訳、随筆、評論などに多くの著作を残し、89歳で没する。鎌倉靈園に墓所がある。

## 清水 僥と「月光とピエロ」

日本の音楽界に大きな影響を与えた清水脩はオペラ、歌曲、合唱曲などに沢山の作品を残したが、中でも400以上の合唱曲のうち半数以上を占める男声合唱曲に優れた作品を残している。男声合唱の名曲中の名曲としていまも全国の男声合唱団で愛唱されている「月光とピエロ」は昭和23年の第2回合唱コンクールの課題曲として作曲された「秋のピエロ」に、翌年4曲が作曲され合唱組曲として発表されたものである。

詩と音楽の起承転結を一つの組曲としてまとめた合唱組曲という形式は、日本独特のもので清水脩によって生まれたが、その第1作がこの「月光とピエロ」であった。

コロンビーヌという可愛い娘に恋をするピエロであったが、その思いは彼女に届かずいつまで待っても見向きもされないピエロ。恋に破れ悲嘆にくれていても、人生を生きるために、真っ白な白粉を塗ってその素顔を隠し、今日も大勢のお客の前で道化役者を演じなければならないピエロ。恋した女性には相手にされず、孤独の悲しみを胸にしまって、女道化師ピエレットとともに、懸命に自分の仕事をやり遂げようとするピエロ。

人生に対するそのひたむきな姿勢を男声合唱のハーモニーで見事に表現したこの曲は、多くの人の胸を打たずにはおかない男声合唱の古典として歌い継がれる名曲となっている。

# プロフィール

## 常任指揮者 堀部 隆二

東京藝術大学音楽学部 声楽科卒業 二期会会員(テノール)。畠中良輔、酒井弘、大熊文子諸氏に師事。イタリア・ミラノへ留学。マリア・カルボーネ女史、アリゴ・ポーラ氏に師事。

二期会・イイノホール主催「新進声楽家のタベ」ジョイント・リサイタルでのデビュー以来、数多くのリサイタル、コンサートに出演。

ヤナーチェック作曲オペラ「イエヌーファ」の日本初演(若杉 弘 指揮)ではスチーヴ役として出演し好評を得た。

一方、「声楽発声」に大変興味と関心を持ち、東京藝術大学在学中より現在の声楽発声学会の会員となり研究を重ね、理事を務めるなど力を注いできた。現在も、声楽発声教師として多くの声楽家を育てている。

また、長年、清泉女学院中学・高等学校の音楽教師として教育活動に携わり、同校の元教頭。現在は同校音楽科講師を勤めている。

そして現在「横浜さかえ男声合唱団」の他、「湘南アマデウス合唱団」「葉山第九合唱団」「藤沢カトリック教会聖歌隊」の常任指揮者を務めるとともに、「柞の森音楽祭」総監督・実行委員長を兼任している。  
藤沢



## 団員指揮者 角 祐一

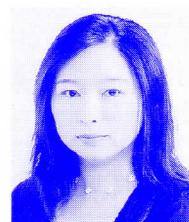


山口県出身。岩国高校合唱部でコーラスと出会いその魅力の虜になった。岡山大学グリークラブでは、2年次に副指揮者3年次4年次を通して正指揮者として活躍する。指揮法を同大学教育学部教授 菱川欣三郎氏に師事。横浜さかえ男声合唱団では団員指揮者として、堀部先生と隔週で練習を担当している。2005年5月、横須賀芸術劇場で行われた神奈川男声合唱協会第6回演奏会でデビュー、第2回定期演奏会から1ステージを指揮している。最近は平日でも活動できるさかえ男声有志でコーラスボランティア“さかえダンディーズ”を結成し、コーラスに接する機会の少ない人たちのために、各地のケアプラザなどの施設訪問で男声コーラスの魅力を味わってもらう活動にも力を入れている。

## ピアニスト 飯田 由紀子

国立音楽大学ピアノ科卒業。ピアノを田口順子氏、芝治子氏に師事。現在「横浜さかえ男声合唱団」、「コール・フォンテ(女声合唱団)」の伴奏のほか、朝日カルチャーで、シャンソンの伴奏をしている。

現在栄ソリスティ会員。



## 団員名簿

### Top tenor

浅田 一彦  
武田 和久

伊藤 正昭  
◎武部 幸生

斎藤 和夫  
菱山 武

瀬尾 弘吉  
藤枝 真

### Second tenor

伊藤 秀夫  
藤原 正勝

塩山 弘  
渡辺 正久

◎高取 哲彌

長尾 明信

### Baritone

飯田 擭充  
平山 正宏

池田 勝敏  
森 博昭

◎近藤 純士

中田 宏

### Bass

浅井 豊  
◎鈴木 宏一  
山口 健一

伊東 哲  
角祐一  
山辺 泰治

首藤 達司  
竹山 行三

末廣 綱安  
古屋 信造

◎パートリーダー

## 最近の主な活動

H19.5	第3回定期演奏会	栄公会堂
6	介護老人保健施設「あさひな」訪問演奏	
7	済生会南部病院ロビーコンサート	済生会南部病院
8	桂台中学校創立30周年記念事業・桂台中まつり出演	桂台中学校
10	栄区民芸術祭・秋の音楽祭「音楽の祭典」	栄公会堂
10	小菅ヶ谷地域ケアプラザ訪問演奏	
H20.2	ヨコハマ・コーラルフェスト	みなとみらいホール
6	堀部先生を囲む3団体交流会	葉山町福祉文化会館
10	栄区民芸術祭2008・秋の音楽祭「音楽の祭典」	栄公会堂
11	「野七里ふれあい文化祭」出演	旧 野七里小学校
11	第4回定期演奏会	栄公会堂

### 〈今後の予定〉

H21.1.17	介護老人保健施設「あさひな」訪問演奏	
2.7	済生会南部病院ロビーコンサート	済生会南部病院
4.18	第8回神奈川男声合唱協会(KAMCA)演奏会	藤沢市民会館

## 「横浜さかえ男声合唱団」入団のお誘い

～ご一緒に男声合唱を楽しみませんか～

### ●次回定期演奏曲●

多田 武彦作曲「雨」  
ミュージカル・コレクション  
…他

練習日：毎週 土曜日 夜 6:30～9:00

練習場：桂台中学校音楽室

団費：月 3,000円

連絡先：伊藤正昭 TEL 045-894-1131

URL:<http://sakae-dansei.web.infoseek.co.jp/>

# 横浜さかえ男声合唱団 団歌

## 「明日を見つめて」

作詞・作曲 角祐一

### 一. ゆうやみせまる 丘の上

今宵も集いし われらが仲間  
いくたの荒波 のりこえて  
ふたたび春を 高らかにうたわん  
横浜 さかえ男声 幸あれ さかえ男声

### 二. しおかぜかおる 横浜の

まちに生まれし われらが仲間  
あしたを見つめて 今日もまた  
こころ合わせて 高らかにうたわん  
横浜 さかえ男声 幸あれ さかえ男声

## 「紅葉（もみじ）」

作詞 高野辰之  
作曲 岡野貞一

### 一. 秋の夕日に 照る山紅葉

濃いも薄いも 数ある中に  
松をいろどる 枫や薦は  
山のふもとの 裾模様

### 二. 谷の流れに 散り浮く紅葉

波にゆられて 離れて寄つて  
赤や黄色の 色様々に  
水の上にも 織る錦に